

## DX Talk vol.50 記事

はじめに

本記事は2024年2月7日に、金融とITの融合と発展を目指すメディアプロモーションカンパニーとしてイベントの企画運営やコンサルティング事業を手掛けている株式会社グッドウェイ代表取締役社長の藤野宙志氏をお招きして、山梨県における地域DX実践アドバイザーとして活動している「地域経済エコシステムの実践」についてお話いただいた講演をまとめたものです。

当会では、DX Talkと題して職種横断的にさまざまな企業のDX責任者をお招きし企業のDX推進について講演をいただいております。本講演はその50回目にあたります。主にDX担当部門、経営企画などの部課長クラスの方が視聴されることを想定し、DX推進の実務的詳細にまで踏み込んだ講演を魅力としています。業種を特定せず広範な領域のDX推進の実情について知ることにより「ビジョンをどう実務に落とししていくか、実践的なDX推進のヒント」を得られると考えています。

DX Talkはファイナンス稲門会の幅広い企業との接点により実現しているものです。ファイナンス稲門会員には感謝を申し上げますとともに、ファイナンス稲門会員ではない方は本記事をご覧ください。もしファイナンス稲門会に興味をもてただけでしたらぜひご入会を検討していただければと思います。

講演資料については当会で保存しております。ファイナンス稲門会員で講演資料を希望される方はwfic[at]finance-tomonkai.com(atを@に変換してください)まで連絡ください。

### DX Talk vol.50



## 地域経済エコシステムの実践 ～ワクワク共感の連鎖による新結合

**2024/2/7WED**  
**19:00-**

モデレーター：宮崎 善輝氏  
株式会社DPLUS 代表取締役社長CEO  
ファイナンス稲門会ワーキンググループ幹事

藤野宙志氏  
株式会社グッドウェイ  
代表取締役社長  
株式会社山梨中央銀行 地域DX実践アドバイザー



### 記事まとめ

#### 地域経済エコシステム

- 甲府駅周辺の地域経済活性化を推進。地域の企業や不動産会社、学生などと連携し、特に学生との協力プロジェクトが活発化している。

- 地域の取り組みをデジタルコンテンツにより可視化し、共感を呼び起こし、行動変容を促進する取り組みが進んでおり、全国の金融機関を超えた熱心な人々のつながりが生まれている。

#### 山梨中央銀行地域DX実践アドバイザー

- 山梨中央銀行は「Value Creation Bank」を長期ビジョンに掲げ、その実現に向けて積極的な取り組みを行っている。地域で挑戦する方々とのつながりや新しい発想・活動を創出する場「Takeda Street Base」では、銀行職員と共に地域のイベント開催などを支援しており、地域社会との連携を図っている。銀行自体も、職員の教育やアイデアの促進を図り、地域との共同活動が増えている。支店の営業職員は限られた時間の中で数値目標の設定があるが、銀行は地域に役立つ方法を模索し、DXを通じた関係強化を進めている。最終的には「Value Creation Bank」を通じて、地域の発展に貢献する環境を築くことが目指されている。

#### ワクワク共感の連鎖による新結合

- 現在の組織の意思決定は従来の年功序列やピラミッド構造に基づいているが、異なる時代が融合し、外部環境に適合する感性や方向性は主に若い世代にある。これまでも異なる時代に適合した各世代集団が存在し、若い世代の適応能力を活かすことが重要である。
- 組織が持つ常識ややり方はこれまで通用しているが、今後は若い世代が自らの考えや意欲を積極的に表明し、組織がそれをサポートしていくことが求められる。組織の強みや経験豊富なリーダー層が、若い世代の取り組みを積極的に支援する方向にシフトすることが望ましいと考えている。
- 山梨では山梨経済同友会や山梨県ニュービジネス協議会、山梨イノベーションベースなど、地域を代表する企業や若手経営者が連携し、学生との対話を通じて地域の未来を考える取り組みが行われている。学生のうちから社会との接点を求める傾向もあり、共感プロジェクトを推進することが重要である。

---

### 目次

- [1. 地域経済エコシステム](#)
  - [2. 山梨中央銀行地域DX実践アドバイザー](#)
  - [3. ワクワク共感の連鎖による新結合](#)
-



# 「地域経済エコシステム」 の実践

## ワクワク共感の連鎖による新結合

株式会社グッドウェイ  
代表取締役社長

株式会社山梨中央銀行  
地域DX実践アドバイザー

一般社団法人山梨イノベーションベース  
事務局長

藤野 宙志

2024年2月7日（水）

1

Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

皆さん、はじめまして。グッドウェイ代表の藤野と申します。金融とITのメディアとして主にスタートアップ企業、金融機関、IT企業とのイベント企画運営を行っています。コロナ以降は地域経済エコシステムに注目し、2年半前から山梨をメインに東京と二拠点居住を開始し、現在、山梨中央銀行の地域DX実践アドバイザーや山梨イノベーションベースの事務局長などを務めております。私自身も地域の一員として活動し、共感を大切にしており、このような活動がDXとどのように関連しているかについてお話ししたいと思います。

27 municipalities

## リニア新幹線

Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

山梨はご存知の通り、東京から1時間半と近く、非常に自然豊かな景色に恵まれています。人口も80万人と少なく、甲府市は18万人と手触り感のある人間関係が築ける規模です。山梨には27の市町村があり、それぞれ独自の特色を持っています。一つの県とは思えないほどのバリエーションがある一方、マーケットは小さく、空白や余白の領域が存在します。外部環境の変化により、この余白や空白があることにより、新たな挑戦者や変革を起こす人の流動性を高められる可能性があると考えています。

## 1. 地域経済エコシステム

地域経済エコシステムの実践こそが、私が山梨に飛び込んだ大きな理由です。

### 自己紹介

GoodWay  
Financial & IT Media

株式会社グッドウェイ 代表取締役社長（CEO & Founder） 藤野 宙志



1995年3月 慶應義塾大学 理工学部機械学科卒業

1995年4月 キヤノンマーケティングジャパン システム開発

1999年9月 イー・トレード（現 SBI証券）システム開発

2001年1月 ナスダック・ジャパン システム技術部

2002年9月 シンプレクス セールス&マーケティング

2010年6月 グッドウェイ創業 代表取締役社長

2020年6月 フューチャーベンチャーキャピタル 社外取締役（退任）

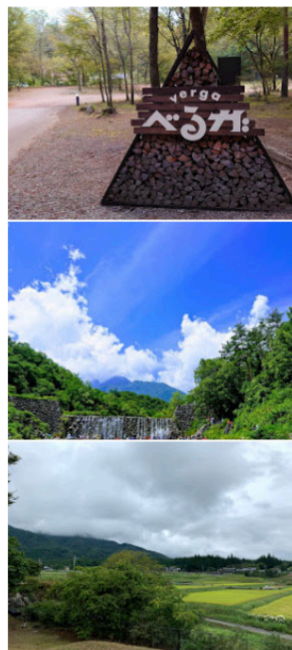
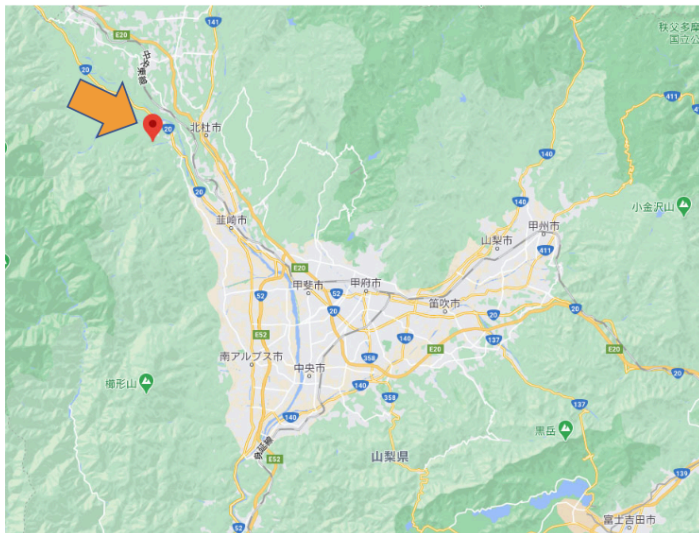
2022年1月 山梨中央銀行 地域DX実践アドバイザー

2023年4月 一般社団法人山梨イノベーションベース 事務局長

私は1990年代にシステムエンジニアとして活動し、インターネットの発展の波に合わせてネット証券の立上げや新興市場NASDAQの日本進出など主に金融とITの分野で活動してきました。その後、2010年に金融ITメディアのグッドウェイを創業し、現在に至ります。

## 自己紹介

母方の出身地は、山梨県 北杜市 武川村 新奥。  
お正月やお盆の時期の多くを過ごした「心のふるさと」。



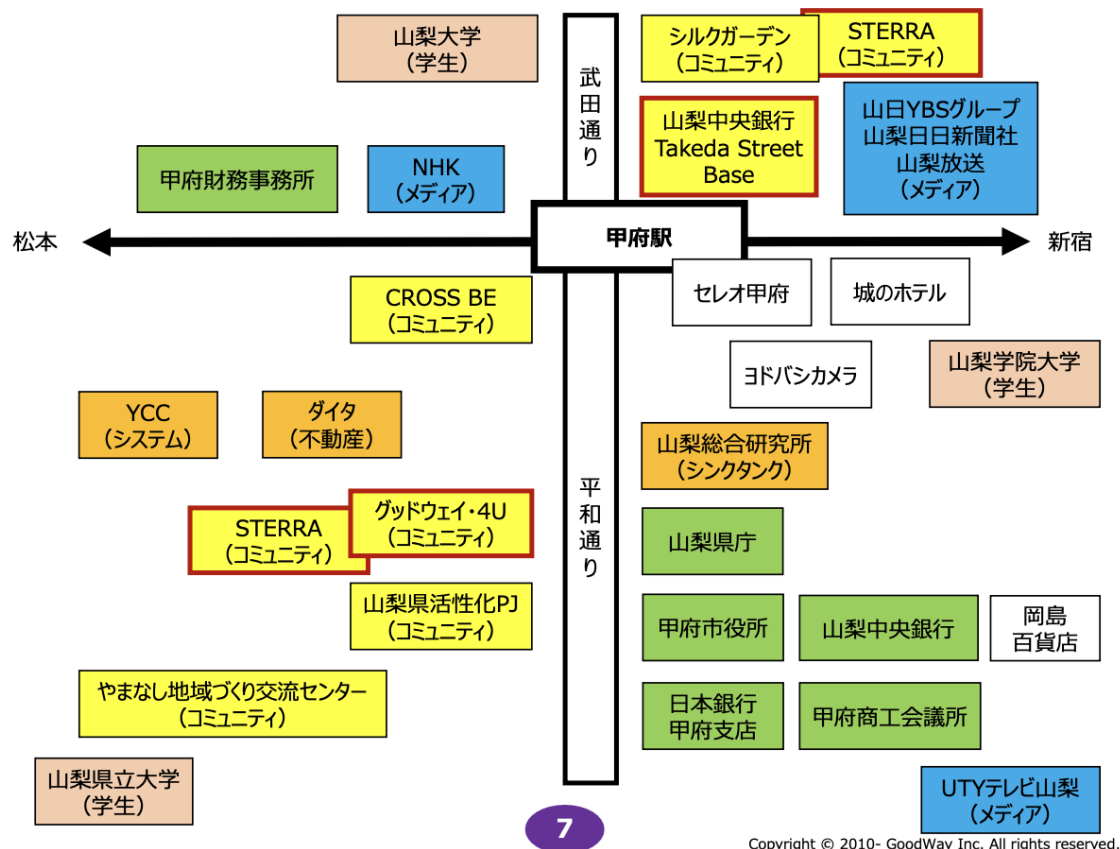
母は山梨県の出身であり、父が自衛隊勤務だったため、転勤族の家庭で育ちました。そのため、自分の出身地がないという状況が続いていましたが、今は自分自身は山梨県出身というくらいの気持ちで、山梨の素晴らしさと可能性を実感しながらフォーカスしています。

**GoodWay**  
Financial & IT Media

- ☐ 自治体（山梨県、27市町村、県議会/市議会）
- ☐ 支援機関（商工会/商工会議所、士業）
- ☐ 金融機関（銀行、信金、信組、財務事務所等）
- ☐ 教育機関（小中高校、大学/大学院、専門）
- ☐ メディア（新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、ネット）
- ☐ コミュニティ・団体・NPO
- ☐ システム・IT
- ☐ 飲食・宿泊
- ☐ 設計・建築
- ☐ 観光
- ☐ 農業
- ☐ 宝飾
- ☐ ワイナリー・酒造
- ☐ スポーツ
- ☐ 不動産
- ☐ 福祉・介護
- ☐ お寺・宿坊
- ☐ 起業家
- ☐ フリーランス
- ☐ 移住者・二拠点居住者・リモートワーカー
- ☐ その他の事業者

これまで約2年半の活動で3,000人以上と名刺交換し、分類すると、宝飾、ワイナリー、お寺・宿坊など山梨らしいジャンルが並びます。また、最近ではリモートワークの二拠点居住者も急速に増えており、山梨が働く場所としても住む場所としても受け入れ先になっていると感じています。現在、どの職業の方がどの市町村に住み、その人のポジティブな側面と阻害要因などを因数分解し、これらのポジティブな要素をつなぎ合わせて新しい取り組みを生み出していくことを目指しています。





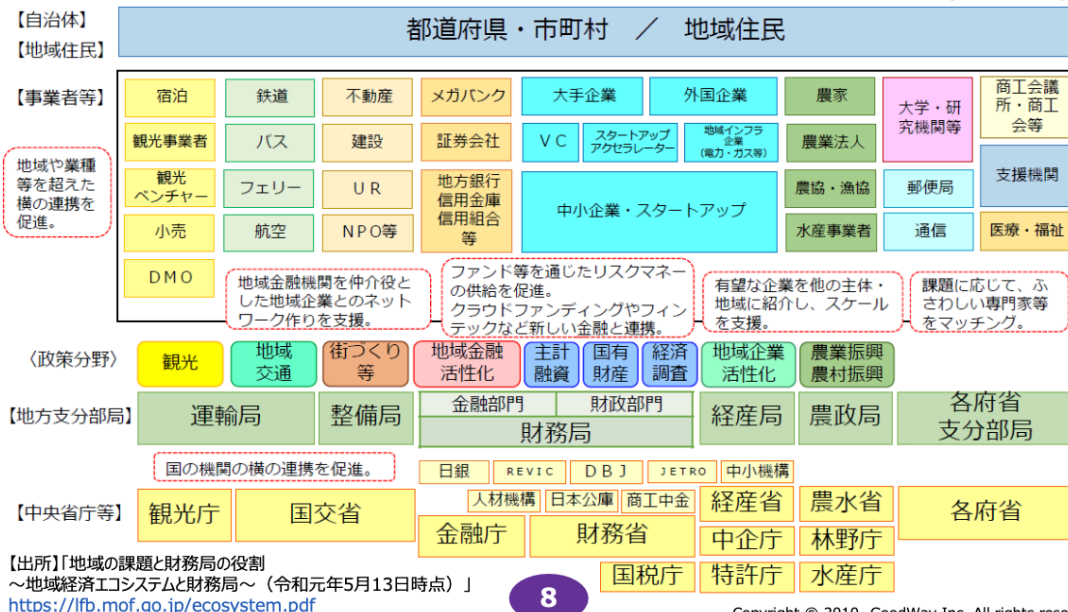
Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

近年、甲府駅の周辺には多くのコミュニティ施設が誕生しており、山梨中央銀行は新しい発想・活動を創出する場「Takeda Street Base」を運営提供しているほか、複数の地元メディアや大学が近隣にあり、地域との関係が非常に緊密です。また、県庁や市役所、銀行も隣接しており、地域経済エコシステムが充実しているため、とても活動しやすいエリアです。

## 【地域経済エコシステムと財務局】

- 地域経済エコシステムとは、ある地域において、企業、金融機関、地方自治体、政府機関等の各主体が、それぞれの役割を果たしつつ、相互補完関係を構築するとともに、地域外の経済主体等とも密接な関係を持ちながら、多面的に連携・共創してゆく関係のこと。
- 地域経済エコシステムは、時代とともに常に変化するものであり、下記イメージ図に例示した関係者も変化し得る。

〈イメージ図〉

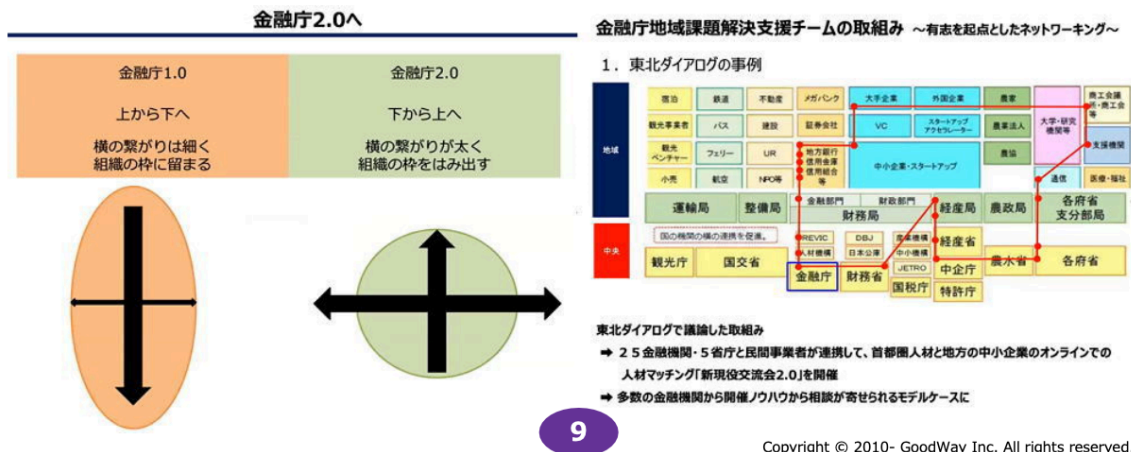


地域経済エコシステムを掲げた財務省の取り組みが、私の原点となっています。都道府県や市町村は、それぞれ独自の地域の事業者で構成されており、各地域には特色があります。私の考えでは、山梨県を一つのオーケストラに見立て、山梨らしい魅力と価値を掛け合わせたメロディーを奏でたいと考えています。そして、それは市町村ごとにも当てはまります。



## クロストーク「今こそ「行動」！共感に集うネットワークとともに」

橋本 卓典氏（共同通信社 編集委員）、萩原 典子氏（GCストーリー 常務取締役）、遠藤 俊英氏（金融庁長官）、日下 智晴氏（金融庁 監督局 総務課 地域課題解決支援室 室長）が出演。



9

Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

金融庁も現在は組織の枠に縛られることなく、個々の裁量を持ちながら目的に向かって行動し、企業の壁を越えて人々がつながることを重視しています。右側に位置する赤い点と線は、個々の熱意や情熱が組織を超えてつながる様子を示しており、これが地域経済エコシステムのオーケストラの調和を形作ると考えられます。このような取り組みを地域全体で積極的に展開していきたいと考えています。

## 甲府財務事務所 第7回「山梨活性化サロン」開催

地域の声、実状を把握し、中央省庁など関係各方面に伝え、効率的な行政運営と施策に寄与すべく、地域経済の中長期的な課題と対応の方向性について自由活発な意見交換の場。



<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/jo1ht9jwi-3242/>

山梨に足を運んだ最初のきっかけは、2018年末に甲府財務事務所で開催された山梨県内の企業経営者や有識者と共に地域経済の中長期的課題について議論する山梨活性化サロンでした。

## 山梨県活性化プロジェクト（甲府ビジネスラボ）



2019.5.22 地域経済エコシステム@甲府ビジネスラボ  
第5回 山梨県活性化プロジェクト

<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/jowxh66gk-3242/>

有識者による意見交換も重要ですが、地域の活性化に関心を持つ移住者や地元で草の根活動している方々も同様に重要です。2019年初頭にSNSで呼びかけた人々が集まり、山梨県活性化プロジェクトの活動として今でも毎月1回のミートアップを継続して開催しています。



## 「第1回 山梨県活性化フォーラム」(2020年2月7日)

県内外から約80名が参加。一般企業(34%)、起業家(20%)、自治体(14%)、金融機関(10%)、大学・高校(6%)メディア(5%)、士業(4%)、その他(7%)。



<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/jobr05i1r-3242/>

2020年2月のコロナの直前に、そこまでの1年間のミートアップ活動の集大成として「山梨県活性化フォーラム」を初開催しました。このフォーラムは、先述の3,000人の起点となる最初の80人が集まったもので、地域活性化に興味を持つ自治体や金融機関などの関係者が参加しました。



## 山梨出身の学生団体トップファンとの提携

**グッドウェイと学生団体トップファンがリージョナル・パートナーとして提携**  
～山梨を構成する企業・団体や個人のトップファンを増やし、山梨の活性化を推進



<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/bbhzc62o9-3618/>

山梨は人口が少く、人とのつながりが強く、学生たちもコロナの影響で山梨に戻り、東京で過ごした経験から山梨の魅力を再発見し、その魅力に興味を持ち、自己実現のための活動をしたという思いから「学生団体トップファン」が生まれました。学生たちとの交流を通じて、地域への思いが大人たちの心を揺さぶります。学生たちはスポーツやカフェ、アウトドアなどに興味を持っており、空き家の活用や街づくりにも関心があります。

## 「第2回 山梨県活性化フォーラム」(2021年4月21日)



<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/joejn61s6-3242/>

そこで、先述の山梨県活性化プロジェクトの大人たちと学生団体トップファンの学生たちの共催という形で、2回目の「山梨県活性化フォーラム」を開催しました。この際、甲府財務事務所、山梨中央銀行、山梨総合研究所、ワイ・シー・シーなど地元も企業団体からロゴの提供をいただき、取り組みへのエールを送ってくれたことに、私たちは大いに勇気づけられました。

| 登壇者                                                                               |                                                                                                      | ライトニングトーク                                                                           |                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
|  | 市川 達貴 さん<br>(山梨県活性化プロジェクト 代表、<br>行政書士市川達貴事務所)                                                        |    | 三澤 聰司 さん<br>(山梨県活性化プロジェクト、<br>日本コーシス株式会社<br>FFLab (Financial Foresight Lab.) 代表) |
|  | 塩谷 諒輔 さん<br>(株式会社スクーミー (SchoolMy)<br>代表取締役 CEO)                                                      |    | 斉藤 修 さん<br>(株式会社ワイ・シー・シー (YCC)<br>ビジネス推進本部 サービスデザイン部 部長<br>兼 東京支社 統括部長)          |
|  | 高村 大夢 さん<br>(トップファン 共同代表、法政大学 経営学部)<br>荏崎高校 出身、興味：ファンディング、<br>クラウドファンディング、コンサルティング、<br>マネージメント、ファン作り |    | 長田 拓真 さん<br>(トップファン 共同代表、日本大学 理工学部)<br>荏崎高校 出身、興味：まちづくり、建築、<br>リノベシ、コミュニティ       |
|  | 平田 匠 さん<br>(トップファン、慶應大学 SFC)<br>荏崎高校 出身、興味：企業、デザイン、教育、<br>哲学、キャリア設計、ハエ研究、カメラマン<br>兼デザイナー             |    | 手塚 翔己 さん<br>(トップファン、巨摩高校 出<br>身、興味：デザイン、空                                        |
|  | 稲野 富山水 さん<br>(トップファン、国学院大学 人間開発学部)<br>荏崎高校 出身、興味：メディア、マスコミ、<br>教育                                    |    | 藤島 秀太 さん<br>(トップファン、甲府昭和高校 出<br>身、興味：空                                           |
|  | 藤原 史也 さん<br>(トップファン、専修大学 法学部)<br>荏崎高校 出身、興味：公共政策、空き家、<br>地方創生、スポーツ                                   |    | 北村 志歩 さん<br>(トップファン、甲府昭和高校 出<br>身、興味：空                                           |
|  | 大柴 孝太 さん<br>(トップファン、山梨大学 工学部)<br>荏崎高校 出身、興味：プログラミング、教育、<br>農業、スポーツ、ものづくり、まちづくり、<br>イベント企画            |    | 駒井 智希 さん<br>(トップファン、荏崎高校 出<br>身、興味：空                                             |
|                                                                                   |                                                                                                      |    | 松本 直人 さん<br>(フューチャーベンチャーキャピタル株式会社<br>代表取締役社長)                                    |
|                                                                                   |                                                                                                      |    | 大原 勝一 さん<br>(株式会社SHOEI 代表取締役 社長)                                                 |
|                                                                                   |                                                                                                      |  | 市川 哲平 さん<br>(Sunny Day Farm)                                                     |
|                                                                                   |                                                                                                      |  | 功刀 隆行 さん<br>(ヨダファーム 嫁、代表)                                                        |
|                                                                                   |                                                                                                      |  | 和田 典子 さん<br>(メデイトリーナ株式会社 代表取締役<br>博士 (知識科学))                                     |
|                                                                                   |                                                                                                      |  | 小川 貴志 さん<br>(Kakurinto Temple Beer、<br>クレアシオンファーム)                               |
|                                                                                   |                                                                                                      |  | 高井 大介 さん<br>(家守屋山梨 代表家守)                                                         |

みんなが主人公

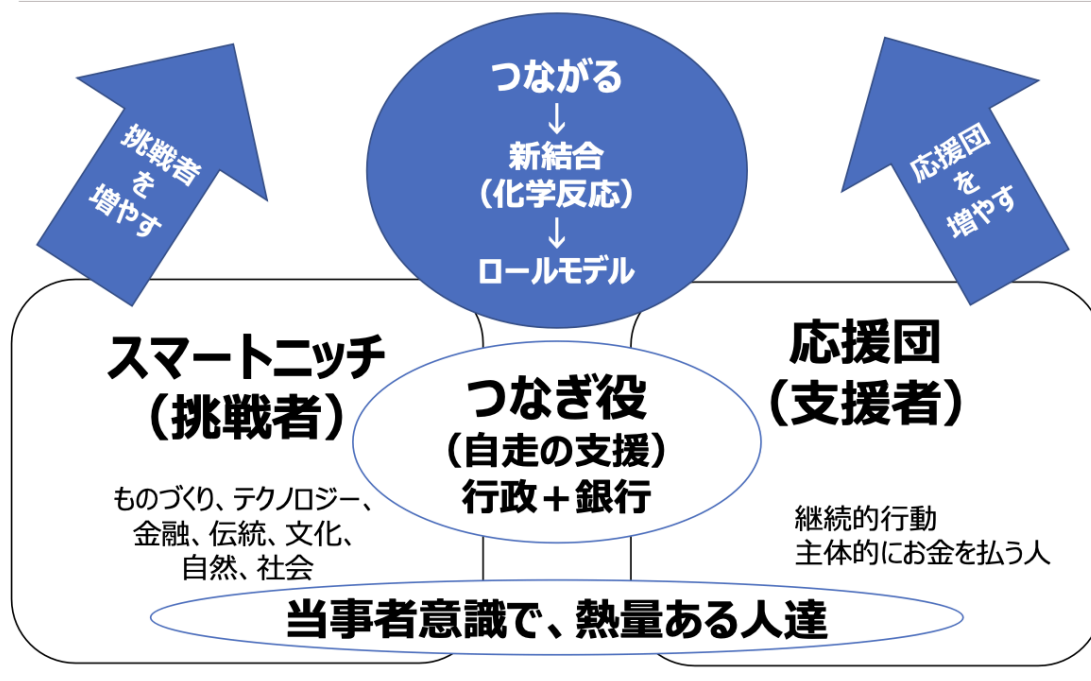
熱い想い、ストーリー

未来をイメージする力

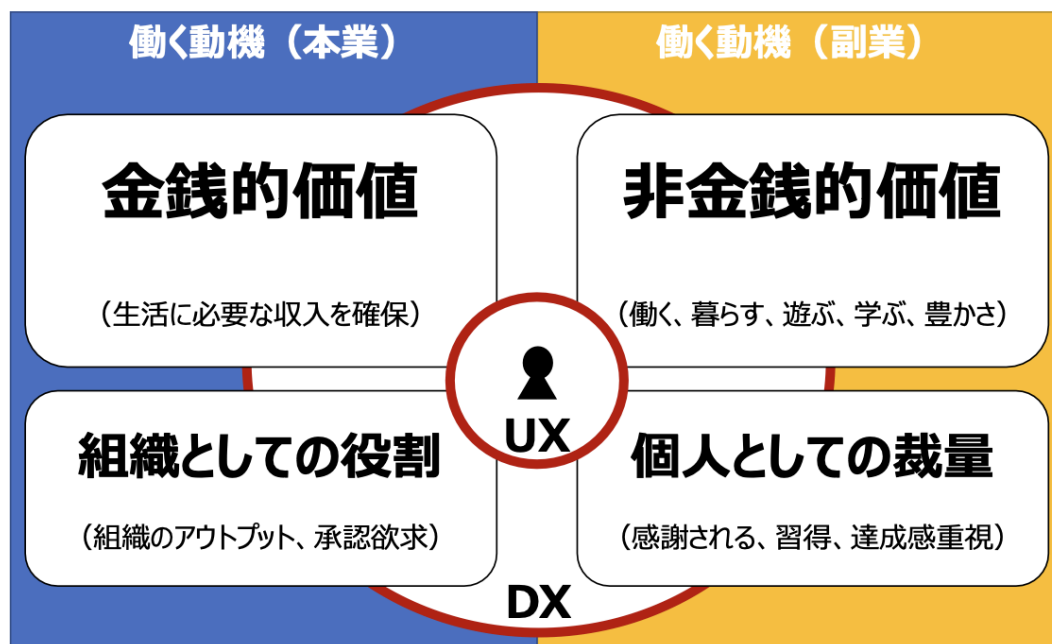
共感、アイデア、創発

信頼のつながり

「山梨県活性化フォーラム」を通じて、山梨の未来に貢献する取り組みに携わる個々の  
方々にスポットライトを当て、ライトニングトークを通じて、より多くのファンや共感者を増やす  
活動をしてきました。



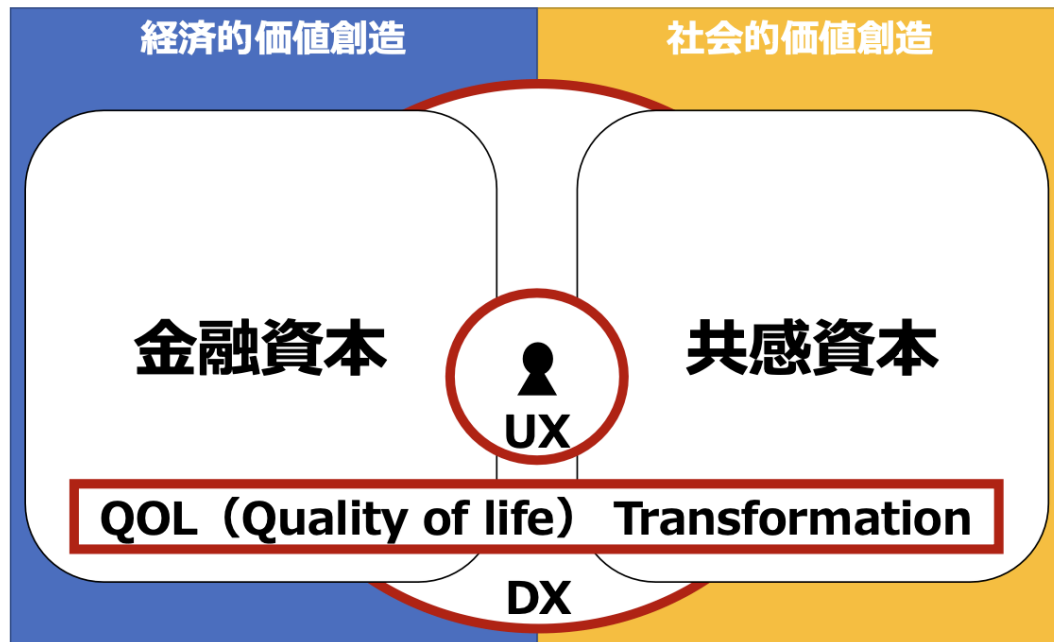
どの市町村を訪れても、そこには挑戦者と支援者が存在し、時には出る杭として打たれることもあります。そのため、銀行や行政の中から本当に良いと感じ、面白いと思える新しいチャレンジを生み出す環境を築き応援していくことが重要です。それにより、出る杭として打たれず、応援し合えるような環境づくりに関わってきました。



UX : User Experience  
DX : Digital Transformation

これまで、私たちは働く(仕事) というと、収入を確保するという金銭的価値と終身雇用をベースとした組織内での役割を果たすという考え方がメインでした。しかし、時代が変わり、最近では、特に地域において、稼ぐことに加え、自己実現といった非金銭的価値が高まっていると感じます。





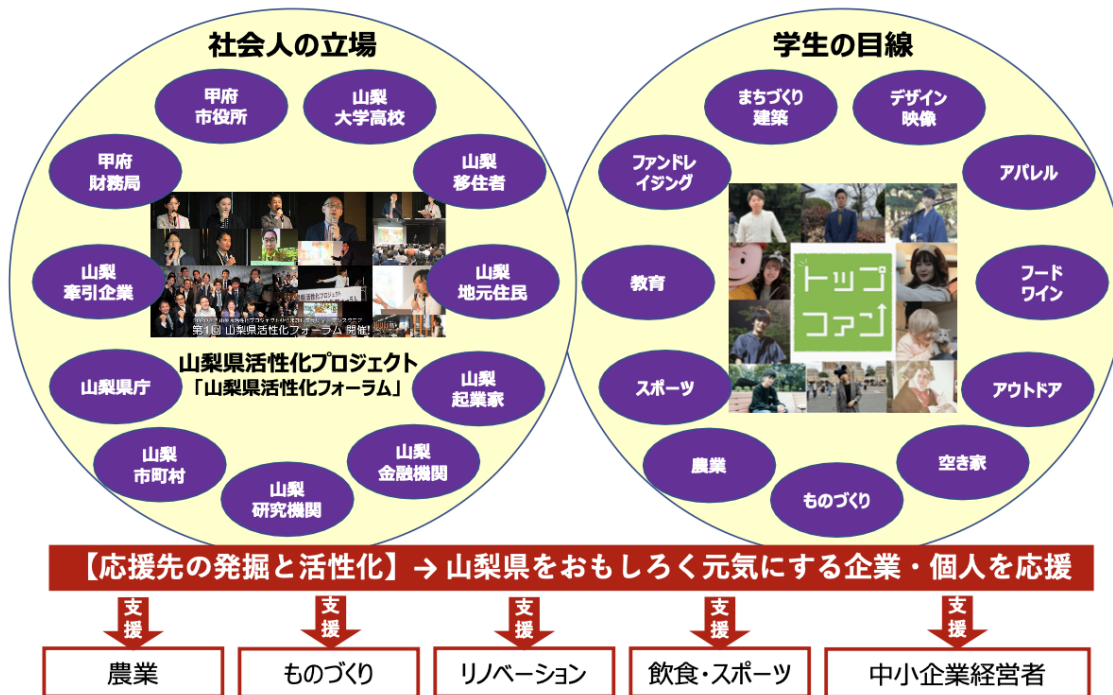
UX : User Experience  
DX : Digital Transformation

18

Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

現在、若者を中心に、共感が重要視されている傾向があります。新しい挑戦をする際には、会社から承認されないことや予算がつかないことなどすぐにアクションできないことも多いかもしれませんが、少なくとも自身の持つ自由な時間やネットワーク、スキルを共有することで新たな可能性を見出すことができるという「共感資本」という概念が広がっています。このような動きが、山梨でさまざまな活動を生み出しています。

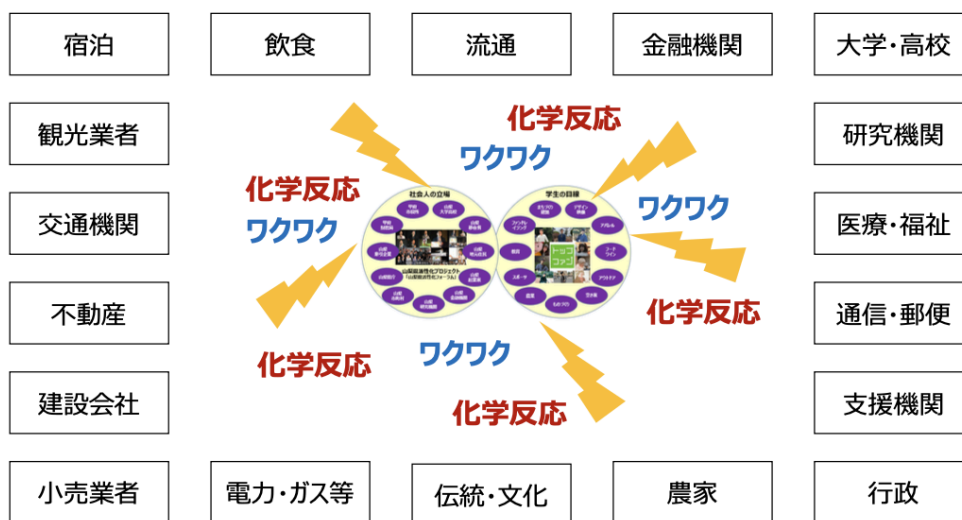
山梨のトップファンを1人でも多く増やす（山梨を活性化させる）ために協賛する企業・社会人、成長したい学生による「持続可能な共同プロジェクト・事業創出」を目指す。



社会人も同様に、自身の職場や地域とのつながりを大切にし、学生たちもそれぞれの得意分野や関心分野を活かし、山梨という地域の中における社会課題や価値といったテーマに共感しながら、一歩を踏み出す共感プロジェクトが生まれています。このような取り組みにおいてはははじめから社会人と学生の上に垣根はなく、共に地域の活性化に向けて自分事として積極的に関わっています。

## 地域の事業者（中小企業）と化学反応を起こす

山梨県の全体における「地域経済エコシステムへの連鎖的な化学反応」を起こしていく。



**山梨を活性化（ワクワク元気にする）＝ 地域の事業者と化学反応を起こす**

地域の企業は、地域の共感プロジェクトに対して直接的な支援や発注を行い始めています。これは、関係の構築や共感プロジェクトへの参加を通じて、会社の利益や内部留保を社会経済に循環させ、地域の活性化に貢献することを意味しています。企業のリーダーや経営者たちが、地域プロジェクトへの投資や支援を通じて地域社会に対する責任を果たし、地域の未来に向けた取り組みを支えています。

## 甲府事務所の開設（山梨県庁、甲府市役所、に隣接）

**GoodWay**  
Financial & IT Media

Vision 山梨をもっと楽しくワクワク、誰もが豊かに暮らせる社会へ  
Mission 共創・協働の場やネットワークを提供、地域経済エコシステムの実践  
Value 未来をデザインし熱量高く変革と価値創造に取り組む方々の活動を支援  
Purpose 「共感資本」と「金融資本」の創造と循環による持続可能な社会を実現

**4F : 仮称 4U**

**GoodWay**  
Financial & IT Media

**FFLab**  
Financial Foresight Lab



やさし里山商店



★山梨県活性化プロジェクト★



本活動を通じて、山梨を構成する企業・団体や個人のトップファンを増やし、共感の連鎖を広げ、デザインを軸に発見・発掘・発信・提案・実行する活動を推進してまいります。

私たちはこのような取り組みに共感し、地域の活性化を支援するための応援をしています。活動推進拠点スペース「4U（フォーユー）」は、学生や地域で挑戦する方々と共に、新しいアイデアや仮説を実証する場として活用されています。当初は何もなかった空間でしたが、現在は銀行や学生、地域のコミュニティとの対話が行われ、活気ある場に成長しています。

## クラウドファンディングの成果

おかげさまで、セカンドゴール100万円（当初ファーストゴール70万円）を達成することが出来ました。  
この度は、温かく心強いご支援、心より感謝申し上げます。

山梨県の若者の“自己実現”の場をDIYで作っていききたい！【学生団体トップファン】

▲ toplyanamanashi ▼ まちづくり・地域活性化 ▼ 山梨県



山梨活性化を目指す学生団体トップファンの  
新拠点DIYプロジェクト『D<sup>2</sup>（ディーキューブ）』

トピコ  
コアラ

学生団体トップファンは、「山梨活性化」と「なりたい自分に向かって学生時代に成長すること」を大切にしながら、山梨県内外の学生で活動する2拠点学生団体です。この度、甲府の中心にオープンした『飯所4U』を新しい拠点のひとつにしていくことになり、その拠点の改修をDIYでチャレンジしていきます！

現在の支援総額  
**1,005,500円**  
143%  
目標金額は700,000円

▲ 支援者数  
**74人**

① 募集終了まで残り  
**終了**

♡ お気に入り 24

おめでとうございます

このプロジェクトは、2021-12-08に募集を開始し、74人の支援により1,005,500円の資金を集め、2022-01-16に募集を終了しました

<https://camp-fire.jp/projects/view/518096>

【オリジナルスポンサー（法人）】

ふれあい、さわやか  
 **山梨中央銀行**

**UNISYS**

 **Ycc**  
Computer & Software

 **NAVICUS**

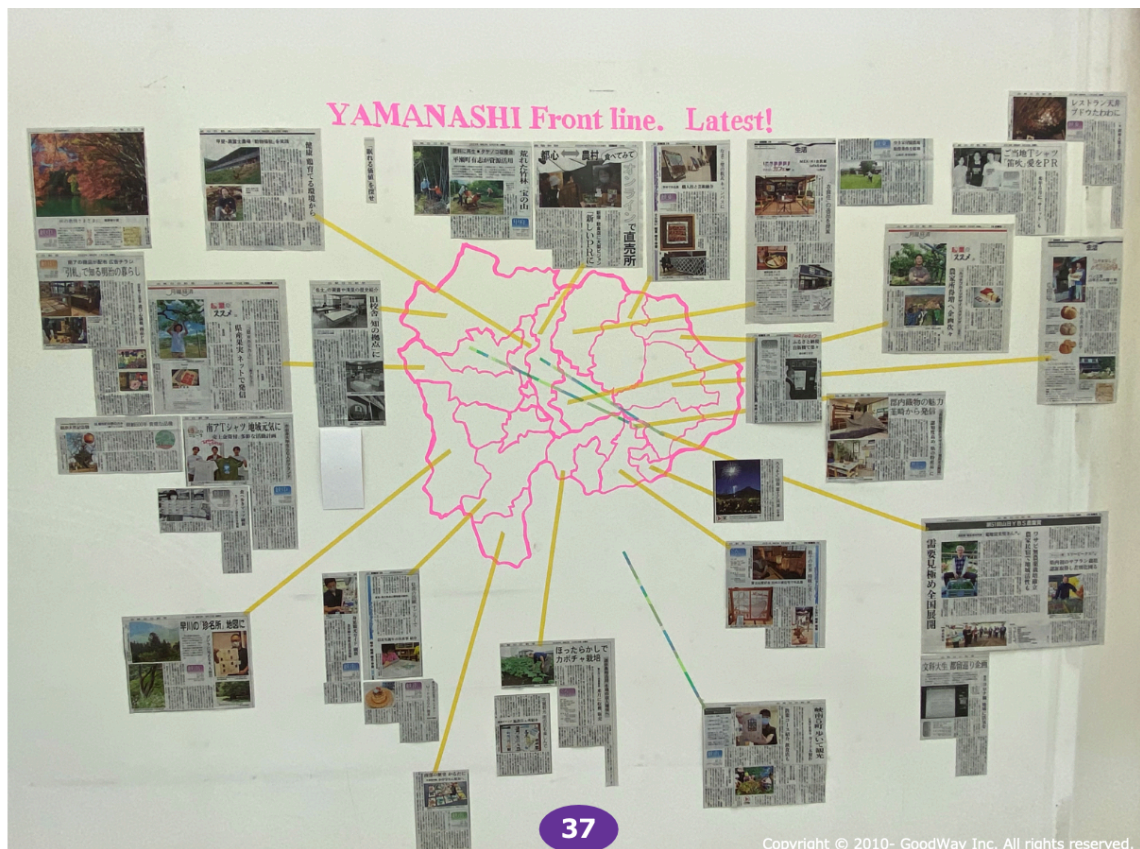
**GoodWay**  
Financial & IT Media

学生たちにとって、この場所で学生団体としての活動ができるということは非常に重要であり、彼らは自らの意思でクラウドファンディングを立ち上げ、スペースの改装DIY(Do it yourself)のための資金を個人と企業から集めました。この取り組みの中で特に企業からのスポンサーが生まれたことは共感から経済資本が生まれた一例であり、学生たちの行動が実際のビジネスと結びつくきっかけとなったと感じています。





それぞれの大学に進学した学生たちは久しぶりの再会を楽しみつつ、天井を改装したり壁を塗ったりする活動を通じて、活動推進拠点スペース「4U（フォーユー）」という新しいアイデアを生み出すための空間を生み出し、地域で活動する皆さんと共にこの場所を通じて活動を行っています。



山梨の27市町村を見渡すと、メディアに取り上げられた数多くの記事があり、その地域の未来を切り開くステキな方々が既にクローズアップされています。私たちは、これらの記事を人材のデータベースと見立てて関心を持って応援したいと考えています。

## 山梨中央銀行 吉田支店、河口湖支店



小池 幹彦さん

山梨中央銀行  
常務執行役員  
吉田支店長 兼 竜ヶ丘支店長

内田 伸一さん

山梨中央銀行  
富士吉田・忍野エリア  
吉田支店 上席副支店長



渡邊 正雄さん

山梨中央銀行  
河口湖エリア  
河口湖支店 支店長

勝俣 雅也さん

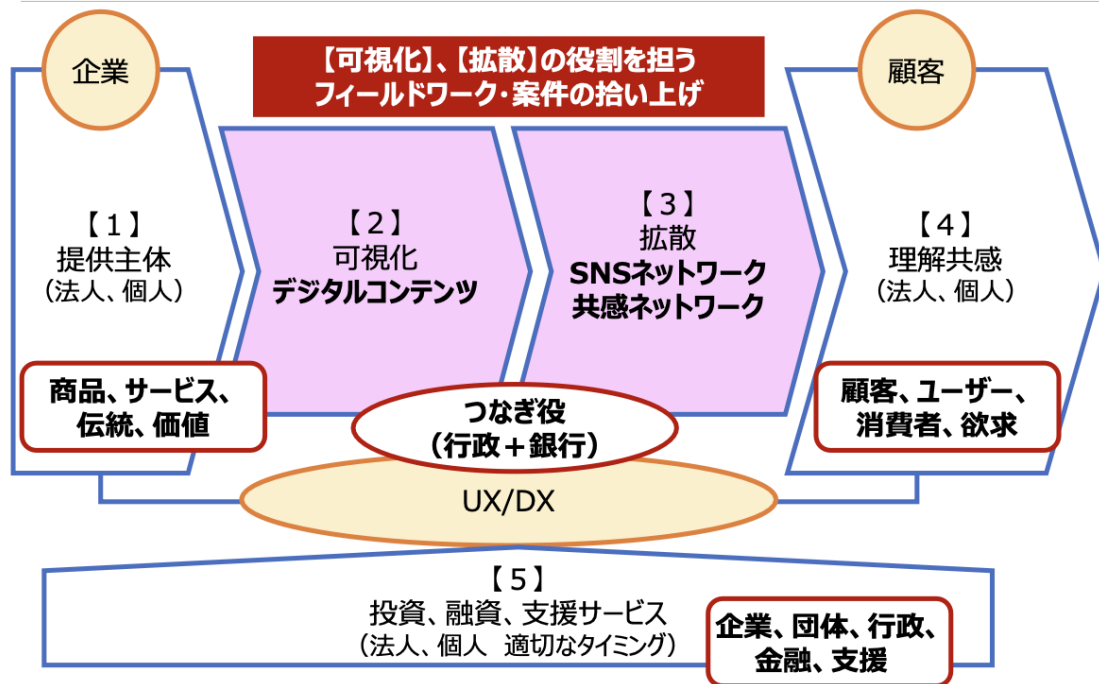
山梨中央銀行  
河口湖エリア  
河口湖支店 主任調査役

地域で挑戦する方々をいかにして応援していけるか。山梨中央銀行は山梨県全域の市町村に支店があります。その支店長を訪ね、銀行として新たな視点を持ち、地域の新たな動きをどのように捉え、取引する前から支援できるか、関心を持って取り組んでいるところです。



# 【共感連鎖・経済エコシステム】みえる、わかる、とどく GoodWay

Financial & IT Media



UX : User Experience  
DX : Digital Transformation

39

Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

こうした素晴らしい取り組みを、デジタルコンテンツとして広く可視化し、発信していくことが重要だと思います。インターネットを通じてそれぞれが持つネットワークと掛け算すると、身近な知り合い同士が関わっている取り組みは共感を呼びやすく、山梨には素晴らしい取り組みがあるという情報が広まれば、人々が集まり、購入し、あるいは共同で事業することも生まれるでしょう。これらの取り組みをデジタルチャンネルで積極的に広げることで、地域社会の行動変容を促すことができると考えています。これこそが地域のトランスフォーメーションとして捉えるべきだと思います。

【ちいきん会】（山梨会場）

「第7回 ちいきん会 ～全国のダイアログを一堂に！そして地域の取組を全国に！！～」

<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/jo3gg3o97-3242/>



山梨の熱い金融機関・自治体・企業・学生など約40名の皆さまと一堂に会し、  
「ちいきん会」イベントを山梨中央銀行の新ビジネス創出拠点「Takeda Street Base」で開催。

現在、全国の金融機関においても、組織を超えて熱心な人々がつながる動きが見られます。全国各地の職員が参加する「ちいきん会」では、地域ごとの金融機関の取り組みを共有し、対話（ダイアログ）を通じて仲間を広げる活動をしています。山梨でも、このようなつながりが生まれています。

続いて、地域DX実践アドバイザーとしての活動についてお話しさせていただきます。

山梨中央銀行 統合報告書 2022

# Value Creation Bank

**編集方針**

山梨中央銀行は、このたび「山梨中央銀行統合報告書 2022」を作成いたしました。本統合報告書は、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「価値創造報告フレームワーク」および経済産業省からの「価値創造デザイン」を参考として、財務情報(経営理念・事業戦略・SDG/ESG情報)と人的資本・情報資本を関連付け、先行ならぬ地域社会の持続可能な価値創造の仕組みを統合的に説明するものです。

また、本報告書に、銀行運営21条に「デジタル・テクノロジー・創利(業務)及び設備の状況に關する説明書附」を準じております。デジタル・テクノロジーとして、これ等の節は、本報告書「山梨中央銀行デジタル・テクノロジー2022」【編纂】(<https://www.yamanashibank.co.jp/ir/eng>)を準じて作成いたします。

【読者に関する注意】

本統合報告書には、各条約に準拠して算出する数値が示されていますが、それらは保証するものではありません。経営環境などの変化により、それとは異なる数値が算出されることと留意ください。

山梨中央銀行は「Value Creation Bank」という長期ビジョンを掲げています。

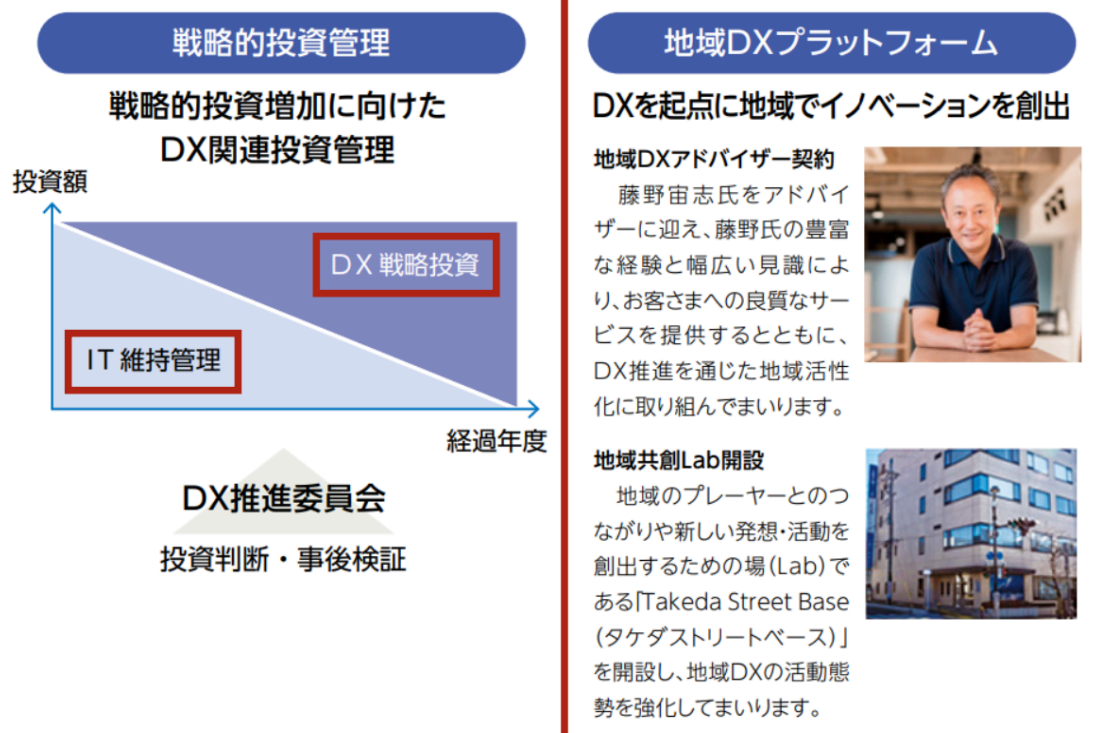


## 5. 中期経営計画「TRANS<sup>3</sup> 2025」

### ●長期ビジョン実現に向けた中期経営計画の位置づけ



私が地域DX実践アドバイザーに就任させていただいたタイミングは、直前の中期経営計画における構造改革ステージを経て、現在、成長軌道ステージとして新しいことにチャレンジする重要なフェーズにあります。新たな価値を創造し続け、この先の成長持続ステージに向けて、とても大切なフェーズといえます。



今後の戦略的投資に向けて、地域で挑戦する方々とのつながりや新しい発想・活動を創出する場「Takeda Street Base」も開設されました。

## 地域DX推進活動拠点「Takeda Street Base（タケダストリートベース）」を活用した地域連携の実践



2022年8月18日 【ヨダファーム】記者発表会「クラウドファンディング」  
<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/joyx0n5nu-3242/>



2022年8月30日 【甲府市役所】第3回「甲府しあわせ研究会」  
<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/jopm1dncx-3242/>

中期経営計画による改革、地域の課題解決や新たなビジネスの創出に向けた活動交流拠点として銀行内の担当部署、職員も積極的に関与。

### 経営企画部 経営企画課

➤ DX・イノベーション推進室

### 地方創生推進部

➤ 山梨未来創生室

### コンサルティング営業部

### 銀行職員と一体となって活動

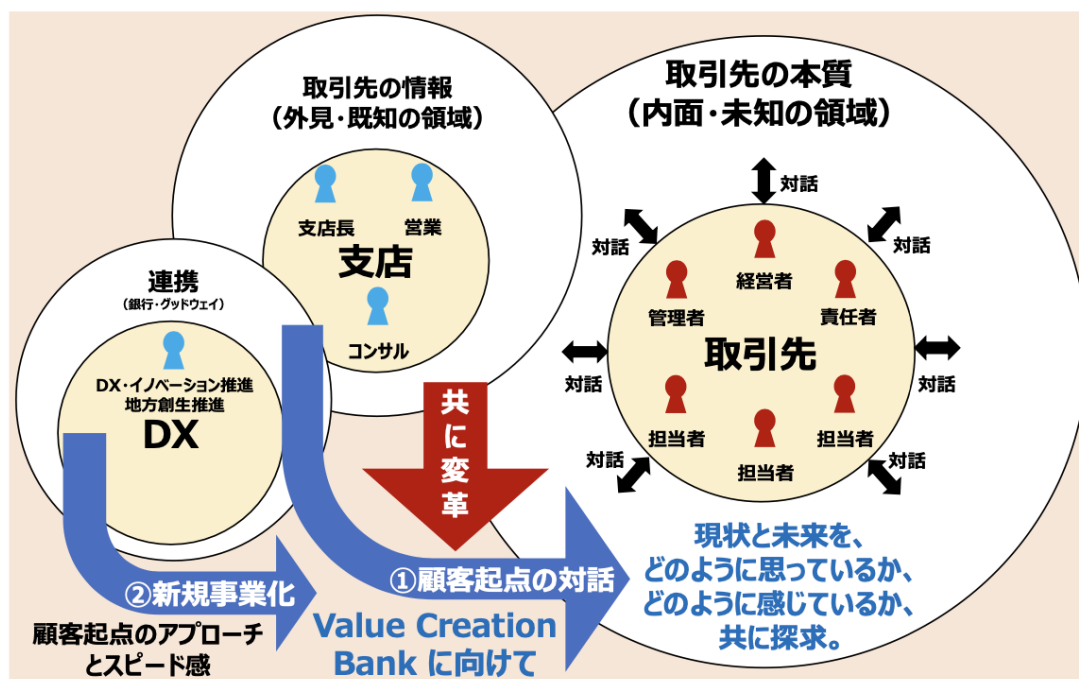
- 企画運営支援
- コミュニティ運営伴走
- ノウハウ共有
- ファシリテーション支援
- 音響機器の貸与
- 4U連携、個別協議



三澤 聡司さん（BIPROGY）、古屋さん（山梨中央銀行）、  
 藤野（グッドウェイ）、高村さん（学生団体トップファン 元代表）

「Takeda Street Base」では銀行職員が自らコミュニティ運営やファシリテーション、また音響のオペレーションなどを通じて地域での銀行の新たな役割・あり方を探求しています。新設部署として、銀行で新規事業を立ち上げようという地方創生推進部や、新しい接点を生み出すDX・イノベーション推進室が活動しています。

## Value Creation Bank に向けて



あくまでも、地域DX実践アドバイザーの立場から見た解釈と私見となります。

DXや新規事業を通じて、銀行の支店における顧客起点の対話を通じた長期的な関係の構築、そして、共に変革し、未来に向けた長期ビジョン「Value Creation Bank」の実現に注力できるような環境づくりを目指しています。

### 3. ワクワク共感の連鎖による新結合



これまでの社会や企業組織の意思決定は年功序列やピラミッド構造、ファミリー的な形態に基づいています。しかし、デジタル化が進むこれからの時代、外部環境の変化に最も適合した感性や方向性を持つ若い世代が中心となっていきます。その一方で、過去の時代においてそれぞれ異なる時代に適合した強みを持つ世代も存在しています。それを古いとするのではなく、現在の若い世代が持つ適応能力を存分に発揮出来るように補い後押しすることが重要であると考えています。





これまでは若い世代に対しては研修などを通じて組織が培ってきた成功モデルを伝えることが一般的でした。しかし、これからは若い世代が自分たちの考えや意欲を積極的に表明し、組織がそれをサポートすることが重要です。組織の強みや経験豊富なリーダー層が、若い世代の取り組みを積極的に支援する方向にシフトすることが望ましいと考えています。

第1回 山梨経済同友会ラウンドテーブル

# 学生が考えるシン・ヤマナシの構築とは

【主催】山梨経済同友会

日時 2022年12月7日(水)  
16:00～18:30  
(交流会 18:30～20:00)

会場

Takeda Street Base  
【山梨中央銀行の新たなビジネス創出活動拠点】  
山梨県甲府市武田 2-9-4 YC 武田通ビル1階



現在、山梨でもこのような動きが見られると感じています。地域を代表する企業のトップが集まる山梨経済同友会においても、将来の展望を議論し、提言書を作成する際に、学生や若い世代の視点も重視されるようになっていきます。学生とのラウンドテーブル形式の機会も積極的に設けられており、学生との対話を通じて将来を考える取り組みが広がっています。

【山梨経済同友会】

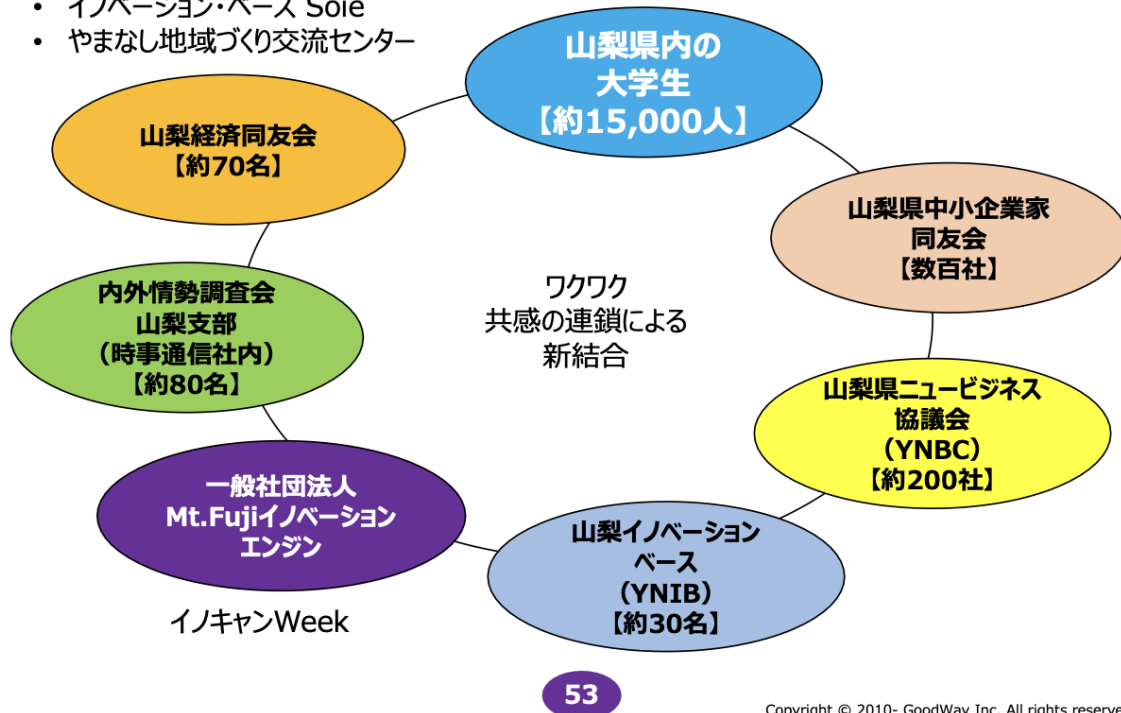
第2回 山梨経済同友会ラウンドテーブル「学生が考えるシン・ヤマナシの構築とは」

<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/joxft54bb-3242/>



また、学生側でも、以前よりも積極的に社会人との接点を求める傾向があります。就職後ではなく、学生の中から実践的な関わり方で社会に貢献したいという若者が増えています。そのため、共感プロジェクトを積極的に推進していくことが重要だと考えています。

- Takeda Street Base（山梨中央銀行）
- CROSS BE（ダイタ）
- 活動推進拠点4U（グッドウェイ甲府事務所）
- イノベーション・ベース Soie
- やまなし地域づくり交流センター



Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

山梨では複数の経済団体が連携を深めながら、さまざまな新しい取り組みが広がっています。また、山梨には約1万5,000人の大学生がおり、毎年約3,000人の学生が入学・卒業するという流動性があります。この学生たちの間で新しい働き方や雇用のあり方に関する様々なアイデアやムーブメントが生まれており、次の山梨の未来を切り開く重要な要素であると考えています。近年、新しい活動スペースや推進拠点も増えており、人々が集い、対話の場が整備されています。このような環境が整備されることで、さらなる地域の発展につながる可能性を強く感じています。



## 【再掲】山梨県



人口 80万人

**経済規模 3.5兆円**

新宿～甲府 約90分

## 圧倒的な自然の宝庫

## 多様な伝統文化

## 27市町村

## 外から見る魅力・価値

## 人とのつながり

## 気候・景色・空・水

## 余白・空白領域

## 若者は宝

## 中部横断自動車道

## リニア新幹線

あらめて、山梨を一つの地域経済エコシステムのオーケストラと捉え、各市町村の事業者や住民が共に地域の個性と魅力でメロディーを奏で、山梨の豊かな未来に向けた可能性に満ち溢れる局面にあることを実感しています。





新規事業創出につながるオープンイノベーションの実現に向けた活動を支援

【株式会社グッドウェイ甲府事務所】

「イベント企画運営支援サービス」のご案内

株式会社グッドウェイが提供しているサービスメニュー（メディア・プロモーション事業、イノベーション事業）の中より、グッドウェイ甲府事務所が提供する「イベント企画運営支援サービス」についてご案内させていただきます。

<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/4u>

Copyright © 2010- GoodWay Inc. All rights reserved.

最後になりますが、冒頭でご覧いただいた活動推進拠点「4U」は、地域でイノベーションを生み出す場として、地域の課題や魅力についてテーマを立てて関係者と共有することによって、共感の連鎖により新規事業を生み出していくことを目指しています。そして、山梨の魅力を再発見し、地域経済エコシステムの実践を通じて、地域における挑戦を加速し、市場が広がることを願っています。今回はお話をこれまでにさせていただきます。ありがとうございました。